

給食で食を考えましょう!!

☆全国学校給食週間 (1月24日～30日)



学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にある私立忠愛小学校で、家庭が貧しく学校に弁当を持参できない子どもたちのために、写真①のような食事を無償で提供したことが始まりとされています。その後、学校給食は都市部を中心に広がりましたが、戦争などによる厳しい食糧不足のため一時中断せざるをえなくなりました。

戦後、昭和21年6月に栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助を受けて学校給食は再開されました。同年12月24日には給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を「学校給食感謝の日」と定めました。昭和25年からは、冬休みと重ならない1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」としました。大阪市では昭和25年より写真②のような給食が開始されました。

【日本初の学校給食（明治22年）】

写真①



【大阪市で完全給食が開始（昭和25年）】

写真②



全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めるための1週間です。食べることの大切さを理解し、食べ物や給食に関わる人々に感謝して、給食をいただきましょう。

学校給食 7つの目標

①健康の保持増進を図る

⑦食料の生産、流通、消費を正しく理解する

②望ましい食習慣を養う



⑥伝統的な食文化を理解する

③社交性及び協同の精神を養う

④生命や自然への感謝と環境保全に寄与する態度を養う

⑤勤労を重んずる態度を養う



※「学校給食法」より